

分野：⑨、⑩

(気候は危機的状態)

環境アドバイザー 上領 園子

対象 ゆずの里ケーブルテレビ契約者と
役場ロビーで見た人 所要時間  15分

場所 ゆずの里ケーブルテレビ内 実施時期 令和3年5月1日
～5月31日

概要 CO2 排出の 9 割はエネルギー起源、エネルギーの消費による温暖化が問題、家庭からの CO2 排出量、省エネが必要、埼玉県の県民への取り組み、エコライフ DAY、暮らしの省エネ A の家 B の御家の比較、主要国の一次エネルギー自給率比較、電気は再生エネルギーから

プログラムのねらい 温暖化は危機的状態であること
人類に残された(対策を取りその効果が活かされる) 時間は多くないこと知ってもらい対策が急がれることを意識してもらうこと、そして対策として何から始めればよいかの確認

- 1 二酸化炭素排出の 9 割はエネルギー起源
- 2 家庭からの二酸化炭素の排出
- 3 エネルギーと環境の対策は、省エネが必要
- 4 埼玉県の県民への取り組み
- 5 エコライフ DAY
- 6 家庭からの CO2 削減は節電すること
- 7 省エネを探そう A の家と B の家と比較
- 8 主要国の一次エネルギー自給率比較
日本はエネルギーを海外から輸入している
毎年 20 兆円以上の金額が海外へ出て行っている
- 9 電気は再生可能エネルギーから
- 10 自然エネルギー発電会社に変える

受講者の反応
いろいろ改めて考えさせられる。

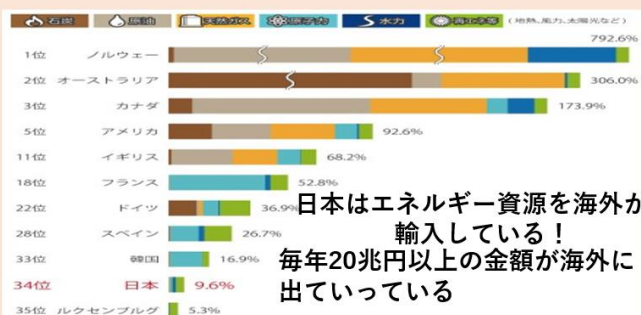
環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



家庭からのCO2排出量



主要国の一次エネルギー自給率比較(2017年)



出典：経済産業省